

ものづくり"新拠点" くりはら。

～東北における自動車産業の中心地～

宮城県北部に位置する栗原市は、東北地方の中心に位置し、仙台北部工業団地群と若手中部工業団地の中間にあり、市内には東北新幹線、JR東北本線、東北自動車道が整備されて、交通アクセスの良さから、「ものづくり企業」が続々と進出している地域です。今号では、ものづくりの"新拠点"栗原の動きとともに、栗原での「仕事」についてご紹介します。

企業誘致による産業拠点づくりを目指して！ 高速交通網を生かした工業団地の造成

宮城県北地域の中核的な工業団地として、築館インター工業団地と若柳金成インター工業団地を造成し、「ものづくり企業」の誘致を積極的に展開。

2016年4月に分譲開始してから、築館インター工業団地（分譲面積：約14.3ha）では既に全区画が完売。若柳金成インター工業団地（分譲面積：約7.6ha）においても残り2区画（約3.5ha）となり、着実に産業集積が進んでいます。

完売



CHECK! 選ばれるだけの"理由"がある!!

- その1 安心の高速交通体系**
東北自動車道ICに近接、空港・湾岸へのアクセス良好
- その2 即戦力のものづくり人材の確保**
東北職業能力開発大学校、一関工業高等専門学校ほか
- その3 充実の立地奨励金**
投資奨励金最大3億円ほか各種支援制度

【主な場所へのアクセス】

■ 仙台北部中核工業団地群（大衡IC）	築館ICから	35km	20分
■ 若手中部工業団地（北上金ヶ崎IC）	若柳金成ICから	63km	37分
■ 仙台港（仙台港北IC）	築館ICから	64km	38分
■ 仙台空港（仙台空港IC）	築館ICから	83km	49分
■ 東京駅（東北新幹線）	くりこま高原駅から	416km	126分
■ 名古屋駅（東北新幹線、東海道新幹線）	くりこま高原駅から	782km	243分

CHECK! 世界に羽ばたく『ものづくり企業』が続々進出!!



豊田合成 東日本 株式会社 2015年6月 稼働

自動車用セーフティシステム製品などを製造・開発する豊田合成株式会社（本社：愛知県清須市）の子会社「豊田合成東日本株式会社」が高清水地区に立地し、2015年6月から工場稼働しています。豊田合成株式会社は、ゴム・樹脂の高分子分野とLED分野のトップメーカーとして、グローバルに事業展開している企業です。



HI-LEX 株式会社 ハイレックス宮城 2018年4月 稼働

自動車用制御ケーブル大手のハイレックスコーポレーション（本社：兵庫県宝塚市）は、同社の100%出資子会社「株式会社ハイレックス宮城」を若柳金成インター工業団地に建設。約2.8haの敷地に工場・出荷場、事務所を整備しました。ハイレックスコーポレーションは、自動車の外からは見えない重要部品=コントロールケーブルの開発と製造に、半世紀以上にわたり取り組んできた国内トップのグローバル企業です。

INOAC 株式会社 イノアックコーポレーション 2019年1月 稼働予定

住宅用建材や自動車用部品などの製造・開発を手掛けるイノアックコーポレーション（本社：愛知県名古屋）は、築館工場を築館インター工業団地に新設します。2019年1月の工場稼働を目指し、現在建設中です。築館工場では主に、住宅用断熱材や自動車用部品などの製造を計画しています。

時代とともに変化、成長する栗原の産業

特集 栗原での“しごと” 栗原での“創業”

第3の自動車生産地域として成長が見込まれる東北。

栗原市は、トヨタ自動車東日本株式会社の宮城大衡工場（仙台北部工業団地群）と若手工場（若手中部工業団地）の中間地点に位置していることから、自動車産業を中心とした集積が急速に進み、また、多くの既存企業が地域に根差し、人々の暮らしや経済を支えています。

立地企業の紹介

▶ 太平洋工業株式会社 栗原工場・若柳工場

太平洋工業株式会社（本社：岐阜県大垣市）の東北地区の生産拠点として栗原工場（2010年稼働）を栗駒地区に、若柳工場（2014年稼働）を若柳地区に立地。
栗原工場では主にハイブリッド車用バッテリーケースなどの自動車用プレス製品を製造。若柳工場は自動車の樹脂製品（ホイールキャップ）を製造。

▶ 東北部品株式会社

自動車部品大手の矢崎総業株式会社（本社：東京都港区）のグループ企業として、自動車用ワイヤーハーネス（組み電線）を製造し、国内各自動車メーカーで使用されている。

▶ 筑波ダイカスト工業株式会社 宮城工場

筑波ダイカスト工業（本社：東京都北区）のアルミニウム及びマグネシウムダイカスト製品の一貫生産工場として金成工業団地に立地し、1998年10月から操業。車載用部品の製造も行う。

▶ 丸電プレス工業株式会社 金成工場

丸電プレス工業株式会社（本社：滋賀県長浜市）の東北地区の生産拠点として金成工業団地に立地し、2017年3月から稼働。自動車用プレス部品を製造。

▶ ミヤマ東日本 株式会社

ミヤマ工業株式会社（本社：愛知県みよし市）の子会社として、若柳金成インター工業団地に立地し、2018年4月から稼働。主に自動車用シートベルト部品を製造。



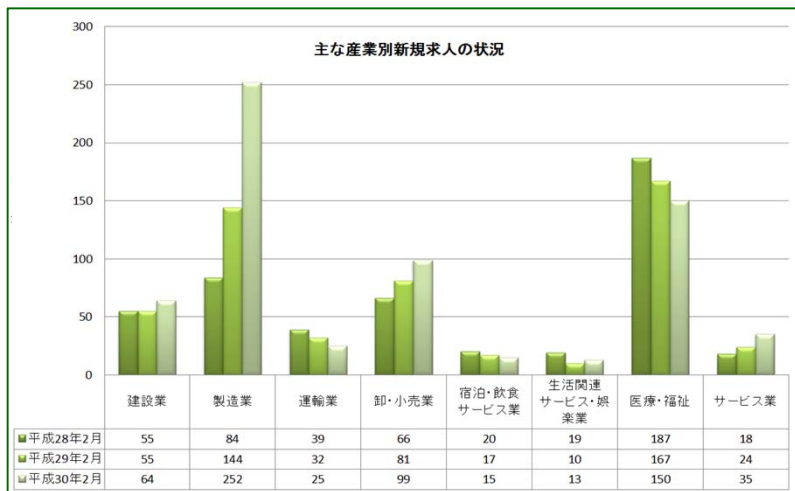
市内の求人状況

新規求人は上昇傾向【有効求人倍率 2.28倍】

2018年2月現在、市内の新規求人数は700人と、前月に比べ1.2%増加し、対前年2月と比較しても24.1%増加しています。このように新規求人は上昇傾向にあり、有効求人倍率も2.28倍という状況となっています。

新規求人の主な産業別では、対前年2月に比べ製造業は75.0%、サービス業は45.8%、卸売・小売業は22.2%、建設業は16.4%、それぞれ増加しています。

ものづくり企業の集積も伴い、栗原では産業を担う人材を必要としています。市では、ハローワーク築館と連携しつつ、市内への移住を希望されている方へ「仕事」に関する情報を提供しています。



出典：ハローワーク築館「最近の雇用失業情勢」

多様なオフィス環境の紹介

コワーキングスペース【有隣亭(花山地区)】

～新たなビジネススタイルの実現の場を提供します～

コワーキングスペースは、独立して働く個人が、オフィス環境を共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルの場です。栗原市内においても、このような新たなビジネススタイル実現の場も提供されています。

●有隣亭(ゆりんてい)【運営：株式会社 花山サンゼット】

- 運営日時：平日・土日祝日ともに 9時～18時
- 席数：6～8席（※どなたでも利用可能。）
- 利用料：12,000円/月額
- ※詳しくは運営者にお問い合わせください。



栗原でしごとを"起こす" "継承する" ～商店街に吹き込む新たな息吹き～

栗駒地区の六日町通り商店街では、移住者やUターン者による空き店舗の活用により、まちに活気が戻りつつあります。

地方への移住を機に、自分のお店を持ちたい(起業・創業)、今あるお店を継承したい(継業)という方々の受け皿(地域)として、注目が集まっています。今、この商店街で起こりはじめた小さな息吹を紹介します。

新たな挑戦を応援したい。カフェ経営 杉浦 風ノ介 さん

築100年の建物をカフェとしてオープン

京都から栗原に移住して約10年が経ちました。もともと古い建物が好きな私は、古民家を再生して何か新しいことができないかと考え、薬店として利用された築100年になる建物を活用し、カフェとしてオープンさせました。

栗原の魅力を発信し続けることで、人が集まり、地域の活力につなげたい

そもそも、なぜカフェなのか。それは、多様な来客者から多くの情報が集まってきますし、それを発信することもできるからです。栗原の魅力を発信し続けることで、人が集まり、さらには自分のように新たにお店を出す方が増えれば、地域全体の活力にもなる。そんな思いでカフェをオープンさせました。

これからも新たにチャレンジする方を応援し続けたい

おかげさまで、商店街の皆さんをはじめ、たくさんの方に応援いただき、営業ができています。空き店舗を活用する人がどんどん増え、商店街や地域に活気が出てくれば嬉しい限りです。これからも新たにチャレンジしたい方の応援を続けていきたいと思っています。



カフェ経営 杉浦 風ノ介 さん



アウトドア用品店経営 蘇武ご夫妻

ハイブリッドな生き方ができる栗原。 アウトドア用品店経営 蘇武 和祥 さん

自分のペースで働き、自分のリズムで時間を使いたい

栗原で生まれ育ち、高校卒業後は仙台で16年間、暮らしました。東日本大震災で感じた都市生活の危うさに加え、忙しく働く日々を振り返ったとき、自分のペースで働き、時間を自分のリズムで使いたい。そんな思いが日増しに強くなっていきました。

アウトドア用品店の開店を目指して、空き店舗を活用

そして、2年前に父が病気で亡くなったこともあり、実家のある鶯沢地区にUターン。栗原での暮らしは、実家で米づくりをしながら、これまでの経験を生かし、アウトドア用品や生活雑貨を販売するお店を栗駒地区に開店させることを目指しました。

空き店舗の活用は人伝いに所有者を紹介してもらい、それから交渉を始めるなど、想像していたよりも難しく、開店まですべてスムーズにいったわけではありませんでした。

地域の口コミで、ネット販売よりも店舗販売が大きく伸びている

開店してから3か月。仙台で働いていたころのように、たくさんのお客様が来てくれることはありませんが、一人一人のお客様が何を求めているのか、ていねいに伺い、要望に合った商品を説明しながらお勧めすることにやりがいを感じています。また、予想外なことも起きています。商店街の方の口コミがどんどん広がり、インターネット販売よりも店舗販売の方が大きく伸びているんです。これは正直、思いもしない結果で、地域の皆さんに本当に感謝しています。

一方に依存しないハイブリッドな生き方ができる栗原

今後は、自分が作った米の販売もしたいと思っています。農業とお店、家族との時間を大切にしながら、一方に依存しないハイブリッドな生き方ができる栗原は、自分の生き方に合っていると思います。



体験プログラム + お試し移住 あなただけのオリジナル体験ツアーをサポート



栗原をれんこんの穴から覗く、伊豆沼のエコツーリズムプログラム『れんこんくらぶ』

栗原市の特産品「れんこん」の植えから収穫まで、一連の作業を体験するプログラムです。主催する**一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク**は、地域資源を活用して体験と交流のプログラムを創出し、年間を通して提供しています。

オーダーメイド方式の『お試し移住体験ツアー』をご提案させていただきます!

市のお試し移住体験ハウスを滞在拠点としながら、くりはらツーリズムネットワークが提供する**体験プログラム**に参加することで、**栗原の暮らしを深掘り**してみませんか。市では、お客様のオーダーに合わせて、各種イベントや体験プログラムを組み合わせた**お客様オリジナルの『お試し移住体験ツアー』**をサポートさせていただきます。

※「れんこんくらぶ」はじめ、各種体験プログラムの開催スケジュール及び詳細については、くりはらツーリズムネットワークのホームページをご覧ください。
※お試し移住体験ハウスのご利用に関しては、定住戦略室にお気軽にお問い合わせください。

れんこんくらぶ
2018年 5月~10月(全6回)
体験プログラム
10人程度 (参加費) 10,000円(参加費別)

栗原をれんこんの穴から覗く、伊豆沼のエコツーリズムプログラム
栗原市の特産品「れんこん」の植えから収穫まで、一連の作業を体験するプログラムです。
体験プログラム
① 5月 5日(土) 10:00~12:30 体験型(参加費別)
② 6月 24日(日) 10:00~12:30 体験型(参加費別)
③ 7月 29日(土) 10:00~12:30 体験型(参加費別)
④ 8月 26日(日) 10:00~12:30 体験型(参加費別)
⑤ 9月 23日(日) 10:00~12:30 体験型(参加費別)
⑥ 10月 21日(日) 10:00~12:30 体験型(参加費別)

2018年 移住相談イベントスケジュール

5/19 (SAT)

第1回みやぎ移住フェア

- 時間 17:30~20:00【入場無料】
- 会場 有楽町:東京交通会館 8F

▽お試し移住&移住体験ツアーをテーマに開催!
▽参加自治体:栗原市・石巻市・白石市・登米市・大崎市・七ヶ宿町

7/15 (SUN)

東北U・I・ターン大相談会

- 時間 11:00~17:00【入場無料】
- 会場 有楽町:東京交通会館12F

▽東北6県の自治体が一堂に集合!
▽トークイベントや先輩移住者を囲んだ座談会なども予定されています。

6/17 (SUN)

第2回みやぎ移住フェア

- 時間 11:30~14:00【入場無料】
- 会場 有楽町:東京交通会館 8F

▽テーマはまだ未定ですが、**宮城県北エリア**の自治体が集合します。
▽参加自治体:栗原市・登米市・大崎市・加美町・美里町・涌谷町ほか

9/9 (SUN)

ふるさと回帰フェア2018

- 時間 10:00~16:30【入場無料】
- 会場 東京国際フォーラム

▽全国47都道府県・約400の自治体等が集合する日本最大級の地方移住イベントです!



移相
談住

宮城県の移住相談窓口を一元化!! みやぎ移住サポートセンター開設

宮城県ではこれまで「暮らし・住まい」と「しごと」に区分して、それぞれ専門相談窓口を設けていましたが、2018年4月から、これらを『みやぎ移住サポートセンター』に一元化し、地方での暮らし・住まい・しごとの総合窓口となりました。

相談される方の要望やどのような新生活を望まれているのか、お伺いした上で宮城県内の自治体につなげてくれますので、お気軽にご相談ください。

みやぎ移住サポートセンター (東京交通会館 8F)

- ▽移住・就職相談員: 佐藤さん・長谷川さん
- ▽お問い合わせ先: TEL 090-1559-4714 E-mail miyagi@furusatokaiki.net
- ▽定休日: 月曜・祝日及び夏季・冬季休業



移相
談住

私たち、くりはら移住定住チームが ご相談に対応します!!



地方移住を考えている方が思い描く新たな生活が、より豊かなものになるように。相談会での出会いをきっかけに、継続的に相談対応・各種情報提供させていただきます。

また、今号でご紹介した栗原での仕事に関するご相談、お試し移住体験滞在中のアテンドのご要望など、お気軽にご相談ください。

(鈴木・二階堂・松・阿部)

発行元 宮城県栗原市 企画部 定住戦略室
問い合わせ先 TEL 0228-22-1125
Email teijyusokushin@kuriharacity.jp

来てみらいん。栗原 検索 ビックりはら。 検索
April 2018 Kurihara Newsletter 4